

## 【JAPIC 沿岸漁業復活プロジェクト 研究会 多部田 主査 略歴】

氏名	多部田 茂 TABETA Shigeru
生年月日	1966年7月13日
学歴	1994年 東京大学大学院工学系研究科博士課程修了（博士（工学））
職歴	1994年 横浜国立大学工学部建設学科講師 1996年 横浜国立大学大学院工学研究科人工環境システム学専攻助教 1997年 デルフト工科大学客員研究員 1999年 東京大学大学院新領域創成科学研究科環境学専攻助教 2001年12月～2002年6月 シドニー大学客員研究員 2002年7月～10月 マサチューセッツ工科大学客員研究員
専門	海洋環境工学 Marine Environment Engineering
現職	東京大学大学院新領域創成科学研究科 環境システム学専攻（兼）海洋技術環境学専攻 准教授 千葉県柏市柏の葉5-1-5 Phone 04-7136-4718 Fax 04-7136-4718 <a href="mailto:tabeta@k.u-tokyo.ac.jp">mailto:tabeta@k.u-tokyo.ac.jp</a>
資格	博士（工学） Dr. of Engineering

主たる  
論文・著書

多部田茂、木下嗣基、清水康弘：水産物を考慮した食料経済モデルの構築	水産工学、2009、45(3)、207-219、2009
佐々木直美、多部田茂：負荷や地形の変動を考慮した東京湾生態系の長期連続シミュレーション	日本沿岸域学会誌、21(4)、2009
多部田茂、田辺直、河島洋平、木下嗣基：沿岸海域における海底湧出地下水の挙動に関する基礎的検討	日本沿岸域学会誌、20(4)、31-38、2008
吉本治樹、多部田茂：海洋生態系による二酸化炭素吸収量の数値的評価手法に関する研究	日本船舶海洋工学会論文集、Vol. 6、19-26、2007
Y. Nishi, S. Tabeta: Analysis of the contribution of ice algae to the ice-covered ecosystem in Lake Saroma by means of a coupled ice ocean ecosystem model	Journal of Marine Systems, Vol.55, 249-270, 2005
北澤大輔、藤野正隆、多部田茂：大型浮体式構造物の海洋生態系への影響に関する研究	日本造船学会論文集、192、277-287、2002
多部田茂、井上義行、木村茂、牧野弘幸：超大型浮体式構造物に作用する津波荷重の数値計算	日本造船学会論文集、第184号、307-313、1998
藤野正隆、佐尾邦久、沼田敏晴、木場正信、多部田茂：2節Articulated Columnの波浪中挙動	日本造船学会論文集、第166号、pp115-130、1989

主たる  
社会活動

日本船舶海洋工学会、日本沿岸域学会、日本海洋学会、日本水産工学会、海洋理工学会、各会員
日本船舶海洋工学会・東アジア海洋環境モデル研究委員会委員長（2006～2009）
日本船舶海洋工学会・海洋工学・海洋環境分野研究企画部会委員（2005～）
日本船舶海洋工学会・東部支部会務委員（2006～2009）
日本沿岸域学会・企画運営委員会委員長（2006～）
国土交通省・タンカーのダブルハル化推進に関する検討会委員（2004）
日本造船技術センター・超大型浮体式海洋構造物安全性評価検討委員会委員（1996）
日本海洋工学会・理事／運営委員（2005～）
海洋工学懇談会・庶務幹事（2002～2009）